

第246回研究科委員会・第354回教員会議・議事要録

日時：令和5年6月14日（水） 12：50～13：15／13：35～14：45

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度非常勤講師計画について

資料1に基づき説明があった。番号30、31番が履修者不在のため取り下げの提案があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(2) 令和5年度9月修了修士論文審査委員について

資料2に基づき、1名について審査委員の選定について提案があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 研究科長

(1) 令和5年度研究推進計画の取り組みについて

資料3に基づき、研究科長から経緯および概要について説明があった。その後、評議員から資料の補足説明があった。

2. 入学試験委員会

(1) 「入学者選抜に係る資料の取扱要項」の改正について

資料4に基づき、資料（データ）の取り扱いについて改正点の説明があった。

(2) 「入学者選抜に係る資料等の公開に関する申し合わせ」の改正について

資料5に基づき説明があり、従来の申し合わせに第5条（公開期間は5年間）を追加すること、公開基準が改正されたことが報告された。理工学研究科及び理工学類については変更なしである。

3. 入試広報委員会

(1) メッセンジャープロジェクトについて

資料6に基づき説明があった。今年も例年通りの実施であること、1年生を優先したいこと、謝礼が出るとのことである。オンラインでの訪問も可能なので、是非グループアドバイザーの先生は指導学生に対してアナウンスしてほしいとの付言があった。

[その他]

1. A教授から、院生学会発表経費について意見が出された。具体的には以下の3点である。1点目は、今年から海外での発表に措置されないように変更されたが、その経緯について説明してほしい。2点目は、そのように変更するのであれば、事前に教員会議で提案するとか、研究科長から教員に対して説明してほしい。3点目は、博士後期課程の学生について、学位授与の条件として外国での学会発表を課しているのはやめた方がいいのではないかと。これだけ円安が進み、旅費が高騰している現状では、国際学会に参加すること自体が困難になってきているため、今後検討してほしい。この発言について、准教授から、費用対効果が悪いので国際学会での発表については早急に見直した方がいいのではないかと、との意見が出された。また、B教授から、これは規程に関わる案件なので慎重に検討したほうがよい、との意見が出された。加えて、後期課程の学生に対しての海外発表旅費の補助廃止はやめてほしいと付

言があった。さらにC教授からは、今年から国内学会への旅費サポートに上限がなくなった。一方で海外旅費援助の廃止となると双方のバランスが悪いので見直したほうがいいと感じた、との意見が出された。また、学位の要件については、国際学会での発表ということよりも英語で発表する経験が重要なので、学位授与の要件から除外することについては慎重に議論したほうがいいと思う、との発言があった。研究科長から、学位授与の条件に国際学会での発表を入れている大学院は他にみたことがないので、今後議論する余地があると思う。また、後期課程学生に対する発表経費援助については執行部で検討したい、との発言があった。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度非常勤講師計画について

資料1に基づき説明があり、網掛け部分の未決定部分について決定したいとの提案があった。質問等はなく、提案通り承認された。

(2) 令和5年度TA等経費予算について

資料7に基づき、今年度の配分額について提案があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 令和5年6月期における期末手当及び勤勉手当の加算該当者の推薦について

プロジェクト-投影により、理工学類から該当者として5級6名、4級4名を推薦したことが報告された。なお、これは先の人事委員会での審議・決定を経て推薦したものであるとの付言があった。

(2) 令和5年6月期勤勉手当に係る「勤務成績が特に優秀な職員」

及び「勤務成績が優秀な職員」（教育職員）の推薦について

プロジェクト-投影により、特に優秀な職員として3名、優秀な職員として11名を理工学類から推薦したことが報告された。なお、これも先の人事委員会での審議・決定を経て推薦したものであるとの付言があった。

(3) 昇任の申請について

今年度の教授昇任については、4月の教員会議で説明した通り、ある時期にまとめて学類から申請するようにと教育研究院会議で決定した。先の人事委員会で検討し、理工学類としては早めに候補者を把握しておきたいので、教員会議終了後に支援室からメールで本件についてアナウンスする。申請シートの締め切りは6月26日（月）12時に設定するので、申請を検討している教員は準備してほしい。中村（勝）教授から、昇任するのは来年の4月1日付けという理解でいいかという質問が出された。学類長からはその通りであるとの回答があった。

2. 入学試験委員会

(1) 「入学者選抜に係る資料の取扱要項」の改正について

資料4に基づき、研究科委員会にて報告済みのため省略。

(2) 「入学者選抜に係る資料等の公開に関する申し合わせ」の改正について

資料5に基づき、研究科委員会にて報告済みのため省略。

3. 教務委員会

(1) 研究室配属の今後の予定について

資料8に基づき説明があった。最初に資料8-2について、研究室配属予定者数に対して不足しているコースの定員補正を依頼しており、調整後の人数が決定した。調整後の人数に基づき、資料8-3中の定員欄に記載の赤字を確認してほしい。さらに、この情報をもとに、資料8-1のスケジュールに従って来週学生に提示する予定であるとの付言があった。

(2) 令和4年度TA等経費決算について

資料9に基づき、令和4年度のTA経費等の決算について報告があった。

(3) 第88回全学教務協議会について

(報告事項)

・令和5年度前期 単位互換による特別聴講学生の受入れ及び派遣状況について

資料10に基づき説明があった。理工学類には該当者はいないとのことである。

・令和5年度優秀初年次レポートの選出について

資料11に基づき、例年通りのスケジュールで進めるので、1年生のアドバイザーの先生には優秀レポートの推薦をお願いしたいとの発言があった。

(4) 第90回全学教務協議会について

(報告事項)

・令和4年度後期成績分布の公開について

資料12に基づき、例年通り成績分布を公開するとのアナウンスがあった。

4. 財務・施設委員会

(1) 令和4年度決算について

資料13に基づき、前年度の決算について項目ごとに説明があり、決算が確定したとの報告があった。

5. キャリアセンター支援部門会議

(1) 令和5年度進路確定登録状況の確認について

資料14に基づき、卒論および修論指導教員は指導学生に各自の進路についてLCに入力するよう依頼してほしいとの要請があった。

6. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金3件、共同研究2件、受託研究2件、受託事業1件の受入れが報告された。

[その他]

1. 第73回国立大学工学部長会議総会について

資料15-1に基づき説明があった。文科省・高等教育局専門教育課・課長補佐から教育未来創造会議の第2次提言の紹介があったので内容について確認いただきたい。また、協議事項3つのうち3番は取り下げとなった。(1)編入学生にかかる修学上の課題について、2年次から編入を実施している大学はごく少数である。(2)工学人材のダイバーシティ推進について、工学系は推進が遅れているという印象であった。その他に要望事項としては2件が了承された。承合事項7件の内容については別途エクセルファイルを確認してほしい。

2. オープンアクセス出版(投稿)料について

資料16に基づき説明があり、物品請求システムにAPCを登録する際、件名を「オープンアクセス投稿料」としてほしいとの依頼があった。

◆教育研究評議会◆

○第399回（5月16日開催）報告

- (1) 【報告】大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）への申請について
第400回教育研究評議会にて報告（会議では申請を認めたという報告のみであった）
- (2) 【報告】国立大学法人福島大学と福島国際研究教育機構との連携協力に関する基本合意書の締結について
資料2-1に基づき、基本合意書を締結したことが報告された。

○第400回（5月23日開催）報告

- (1) 【審議】大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）への申請について
資料1-1の申請書類により5月24日に申請を行うことが報告された。
- (2) 【報告】令和5年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の詳細データについて
資料2に基づき、財務課で資料を加工・序列化したことが報告された。資料2-1が詳細なデータ資料であるので確認してほしいとのアナウンスがあった。
- (3) 【報告】自己評価委員会における教員評価改善WG設置について
資料3に基づき説明があり、理工学類からは柴崎評議員がメンバーとなっている。自己評価委員会において重点課題対応として2つのWGを立ち上げた。5月から検討を開始していること、今後のスケジュールについても報告があった。資料3-1に基づき、現行制度の課題の説明、具体的な検討方法について説明があった。
- (4) 【報告】令和5年度科研費採択状況について
資料4に基づき、前年比減であることが報告された。資料4-1に具体的なデータが記載されているので確認してほしいとのアナウンスがあった。
- (5) 【報告】平成28年度～令和3年度卒業生・修了生アンケート、就職先アンケートの分析結果について
資料5に基づき、卒業生、修了生、就職先に実施したアンケート分析結果について説明があった。詳細は報告書を参照してほしいとの付言があった。
- (6) 【報告】福島大学地域未来フォーラム2023の開催について
資料6に基づき、今年度の予定について報告があった。今年度は2か所（福島、いわき）で開催予定である。

◆運営会議◆

○第187回（6月6日開催）報告

- (1) 【協議】「教育職員の勤勉手当について」の一部改正について
資料は非公開である。勤勉手当を固定から変動させることに改定した。また、IERの教員採用に伴って、規程の中にIERを追加したことが報告された。
- (2) 【報告】運営会議における令和5年度運営計画（大学院関連計画）の進捗確認について（第1回目）
資料2-4に基づき、大学院定員充足率の総括表について説明があった。全体としては111%の充足

率だが、理工学専攻は122%なのに対し、環境放射能学専攻の充足率は20%と低い。学長からは、事前に広報活動を行ったにもかかわらず定員未充足の専攻があることが問題であるとの発言があった。

(3) 【報告】令和5年度におけるステークホルダーからの情報収集等に係る
取組等について

資料3に基づき、各学類に対して協力依頼があった。資料3-1のアンケート調査について、理工学類から学長室の協力を要請したとの報告があった。

(4) 【報告】「福島大学地域未来フォーラム2023 ～地域と共に、新たな
ふくしまをデザインする～」の開催及び展示ブースについて

上述の通り、今年度は福島市といわき市の2会場で実施する。9月10日（福島会場）は准教授に、10月1日（いわき会場）は教授に発表を依頼済である。

以上